



12月22日 (水曜日) 発行 学校支援本部 事務局

5年生 ビックサイトへ

緑のカーテン総合学習は、エコプロダクツ出展と見学で締めくくられました。

会場は、大小700以上の会社や団体のブースが出ていて、子どもたちは班ごとに決められた時間を何とか有効に使って、1つでも多く見学しようと、お手伝いのお母さんと一緒に興奮ぎみにブースを廻りました。

子どもたちのイキイキとした表情で、体験が何よりの学習であると実感しました。半年間、及ぶゴーヤーの育成を通して、またエコプロダクツの取り組みを通して学んだことが、子どもたちの将来に活かされることを願っています。振り返ると、ご協力頂いた多くの方々の顔が浮かび、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

(緑のカーテン担当 今井)



「会場はお祭りみたいだったので、子どもたちがこれまで頑張ったご褒美になりました。何年か先にエコを耳にしたとき、きっとエコプロダクツに行ったことを思い出すでしょう。」

(栗原先生談)



●子どもたちが作成したパネルを、第昇降口に展示してあります。ぜひご覧ください。

今年の漢検

十月二十三日(土)120名が漢字検定に挑戦しました。低学年はすぐにでも始めたいとやる気満々、高学年や保護者の会場となった視聴覚室では、待ち時間の間もテキストを見ている人もいて、緊張感に包まれて

図書ボランティアからのお知らせ

読み聞かせボランティアの皆さま、毎回素敵な楽しい読み聞かせをありがとうございます。また、読み聞かせスペシャルの企画、実施をしていただいたクラスの皆様にも心から感謝申し上げます。

今後は、読み聞かせで必要とされる文房具に関しては、学校にあるもの(例えば、色画用紙や紐、マジック、色紙など)を使用出来るよう、校長先生に許可をいただきました。詳しくは、担任にご相談下さい。また、浜っこ支援本部室も準備作業などにご利用いただけます。ご希望の場合は、事務局・広瀬まで(080-1980-9991)ご連絡ください。

今後とも、子どもたちの笑顔のために、ご尽力いただけると嬉しいです。よろしくお願い致します。

本たくさん集まりました。

寄贈図書にご協力いただき、ありがとうございます。2日間で、290冊の本が集まりました。整理分けなどして、出来るだけ早く子どもたちに貸し出し出来るようにとと考えています。また、今後もこの活動を続けて行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。(図書ボランティア・武井)



今年度は、準備段階から手伝っていただけるサポーターも募集しました。当日の監督役には、3名のお父さんの参加もあり、計16名の方にお手伝いいただき、漢検実施を無事終える事ができました。ありがとうございました。

今年度は、準備段階から手伝っていただけるサポーターのお力を借りて運営していきたくと思っています。みなさんご協力お願いします。

受検者 120名
合格率 86.7%
次回もみなさん
頑張ってください。

ピオトップくらぶ 秋の公園で遊ぼう!

秋晴れの柏の宮公園で開催しました。『すぎなみネイチャーゲームの会』に指導をお願いし、参加者に秋の自然を体感してもらう目的で、3つのプログラムを実施しました。ネイティブインディアン風の狩りに見立てたネイチャーゲームでは、ポカモガンという面白い道具を使って、草地に生息する『生きもの』(本物ではありませんよ!)を狙います。道具の扱いに慣れるまで少し練習をした後、いよいよ本番。いざ始まる子どもたち以上に父さん、お母さんたちは本気モードで狩りに挑んでいました。ネイチャーゲームはこのように全身を動かして、楽しみながら自然に近づき、生きものの不思議やつながりを学ぶ環境教育プログラムです。次回は3月に予定していますので、是非ご参加ください。

12名の参加がありました。



オリジナルの浜っこの木できました

三学期は...

図書ボランティア...読み聞かせイベント
お料理教室ボランティア...お料理教室
子どもたちが楽しめる企画を準備中です。

お楽しみに

電話番号 55番のくまじゅう...

年賀状を刷るためだけに置いていたうちのプリンター。急かしてしまうから必ずトラブルを起す。ことし実家の母が「わたしのプリンターで印刷する!」と250枚の年賀状印刷を買って出てくれた。「なかなかはずりやと映らなかつたけど」と言いながら完成品250枚を手渡してくれた。太陽を背にした逆光の写真だったから、プリント面に笑っているはずの子どもの顔はノッペラボウに。「慶春」というおめでたい文字とは裏腹に、なんとも不吉な賀状になってしまった。「どうしよう...」250

枚の束を持って印刷会社に駆け込んだ。従業員の人数が数人が心配して集まってくれた。苦笑いしながらも「なんとかしましょう!」。後日、職人芸で救われたおめでたい年賀状が250枚出上がった。七十歳過ぎのおかあさんが子どものために頑張って印刷している様子を思い浮かべたのだろう。「おかあさんも一生懸命やってくれたんだもんね。」おだやかな笑みの職人さんたちにも、大切にしているおおかあさんがいるのだろう。

